

序章

〈知の冒険者〉の素顔

手が語る素顔

職人のような風貌

あるホロスコープ

第二次大戦への加担と懺悔

謎に満ちた自由

死者は秘密を携えていく

第1章

永遠の子供

マーサー通り一二二番地の旧宅

十二人だけの葬儀

ウルムとミュンヘン

シンブル・イズ・ビューティフル

二つの〈驚き〉

学校と独学

祖国なきジプシー

軍隊集団への嫌悪

スイス市民権の取得

黄泉の国にアインシュタインはいる

アインシュタイン・ロマンス

CONTENTS

第1巻 ● 黄泉の時空から

自在なポップスター

第2章

相対性理論への問い

アーラウ州立学校での青春
光の思考実験

〈奇跡の年〉、一九〇五年

スイス連邦特許局技官

〈反響板〉としての妻ミレーバ

光の夢の意味

ニュートンとマックススウェルの統一

相対性理論の時間と空間

〈問い〉の天才

一般相対性理論への道

生涯で最もすばらしいアイデア

スーパースターは病んでいた
スイスとの別れ

皆既日食の観測成功

ロイヤル・ソサエティへの加入

粉碎されたニュートンの時計

アイシユタインは死んだ？

時空の曲がり具合

重力波をキャッチせよ

重力波天文学への期待

現代と相対性理論

舌を出したポップスター

サス夫人の秘蔵写真

〈絶妙の演技〉のスクープ

当意即妙なサーピス精神

概念との自由なゲーム

コンサート・プログラムへのメモ

自在な思考集中力

特許申請

自由自在な精神の現れ

アイシユタイン四重奏団の結成

真夏の夜の演奏会

死とは「モーツァルトが聞けなくなる」と

バイオリンを弾くのはやめました

第4章

ユダヤ人とヒットラー

「上がらない」人

ナツソーポイントでの署名

原爆開発への道のり

個人は国家に優先する

ナチスとの戦い

ドイツ・ナチスへの悲憤

祖国スイスへの謎

ヘブライ大学、最初の講義

シオニズムへの二つの感情

苦悩の末の決断

アメリカ市民権の獲得

二人のいとこの運命

国際搜索センターの情報ファイル

テレージエンシュタットのゲット

米海軍とのコンサルタント契約

原爆への「オー、ヴェー」

ドン・キホーテの部屋で

イスラエル大統領への就任打診

政治と方程式

神のパズルを解く

世界のデザイン原理

相対性理論の絶対性

数学で書かれた明快なパズル

幾何学の世界を読み取る

スピノザへのシンパシー

スピノザハウスのゲストブック

〈東洋人〉アインシュタイン

〈聖者〉アインシュタイン

神はサイコロを振らない

スピノザの決定論

東洋的な統一、ヘゼロ・ピットへの精神

終章

黄泉の国への旅立ち

コスミック・ファイリング

ダモクレスの剣

次男エドゥアルトへの父性愛

別離への贈り物

ラブレターの中の長女リーザール

アインシュタインの感情と理性

知の永久運動

〈自然〉への帰還

